

木の家づくりを通じて暮らしを提案する

KoKoLab.

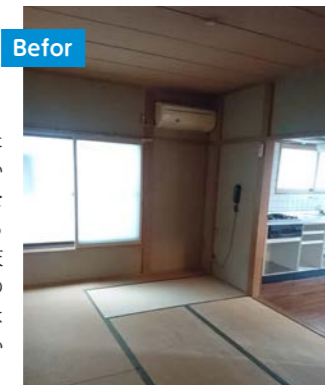
隔月刊ココラボ通信

NO. **79**
2019.June

完成現場報告 藤枝市 / 『紬の家』
改修工事事例紹介

大切な思いを未来につなぐ

木の家づくりをお考えの方へ
(後編・工事の流れ)



Before

和室→キッチン

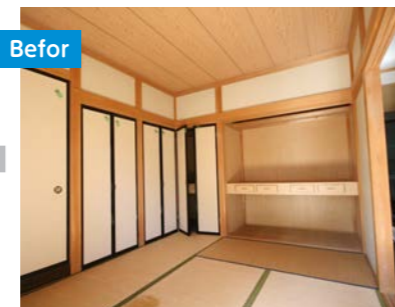
キッチンとつながっていた和室を居間として使っていたが、日中でも暗く照明をつけて暮らしていた。明るい雰囲気とするために、天井を高くし、明るい漆喰の仕上げとした。天井と床は杉板で仕上げ、優しく暖かな色合いの室内になった。



After



After



Before

寝室→広間

寝室で使っていた和室を広間にした。長押下は柱を見せた真壁に、長押上は漆喰を塗った大壁として現状を生かした仕上げとした。押入れをやめてクローゼットや本棚、書齋にした。南北の通風を確保するため、勝手口を書齋奥に移動した。



大切な思いを

未来につなぐ

完成現場報告 藤枝市『紬の家』 改修工事事例紹介

文・写真／コロラボ 山崎健治

昨年の春、藤枝市に完成したお宅は、コロラボでは珍しい改修工事のお宅でした。施主のTさんは数年前に平家のお宅を購入し、リフォームせずにそのままの状態です。各部屋は小さく区切られており、また目中也室内は暗いなどの問題点がありました。お子さんも小さかったため、まずは新しい地域や周辺に慣れ、暮らしながらじっくりと改修計画を考えていく事になりました。中古住宅を購入する際も私に相談をしてくれ、劣化や耐震性などについて調査をさせていただきました。築23年の和風のお宅で、瓦屋根の木造のお宅でした。外壁はしっかりとメンテナンスがされており、またおばあちゃんが一人で暮らしていたという事で大きな破損や問題は無かったため、私もおすすめした物件でした。耐震性や断熱性については十分とは言えませんが、地元の大工がしっかりと思われる在来工法のお宅で、今後十分に改修出来る家だと判断しました。

Tさんは中古住宅購入後も何度となくコ

コロボの見学会に参加してくれ、木の空間や様々な素材について熱心に勉強させていただきました。新築とリフォームは違いがあり、出来ることは限られていると思う方も多しと思えますが、住まいに対する考え方や素材の選択は同じで、木を生かした空間づくりに違いはありません。Tさんも同様の考えを持ち、新築の見学会を通して、自分たちの暮らしに合った木の住まいをイメージされていたと思います。

見学会や相談会、こころぼスクールなどで何度となく会う度にお子さんも大きくなり、いよいよ来年は小学生というタイミングで本格的な計画がスタートしました。天井裏や床下などの詳細調査から始まり、耐震補強や断熱性能についての計画、撤去できる柱や梁の検討なども行いました。新築と違い部材や寸法が決まっているので、それらをどれだけ生かしていきけるか？が重要なポイントになってきます。要望と照らし合わせて優先順位を決め、またコストを考えながら無理のない計画が大切だと思います。今回の計画で全ての要望が叶った訳ではありませんが、子供の成長と共に段階的に計画していきながらこの家とじっくり付き合っていく事を決めました。今回は、改修工事で新しく生まれ変わった空間や素材と合わせて、基本性能アップの工事についてご紹介したいと思います。

調査

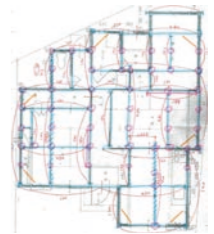
改修計画の前に行うのが詳細調査です。屋根裏、床下に潜り、劣化やシロアリ被害、金物の有無や筋違いの場所などを確認しました。その際に重要なのは調査現場で作成する手書きの図面です。建物の図面や確認申請書が残っていれば、おおよその見当はつけられますが、何も残っていない場合や、あっても間取りが違うとか、筋違いの位置が不明などのケースも少なく無いのが現状です。現場では間取りはもちろん、伏図と呼ばれる構造図や基礎図、高さや断面を検討する矩計図も手書

きで作成します。また、給排水やガス、配線位置なども記入し、なるべく多くの情報を図面に書き込んでいきました。

基礎伏図



梁伏図



その場でつくる手書きの図面。ポイントを押さえ、てわかりやすく書くのが重要。

床下の様子。土台、大引、根太の様子と合わせて給排水の位置と状態をチェック。カビ、シロアリなどの被害もなく健全な床下。断熱材が無いのは畳下だからかな？



屋根裏のチェック。梁の位置や大きさ、金物の有無や種類をこまめに調査した。柱脚柱頭金物、筋違い金物に問題は見られたが、木材の劣化はなく健全な小屋裏だった。



住まいの基本性能アップ プラス + 心地よい木のリフォーム

耐震性UP

Tさんのお宅は築23年の在来木造住宅です。それぞれの状況や使われ方によって家の状態は様々ですが、築年数や構法によって基本的な耐震性能が見えてきます。耐震診断などでよく耳にする新耐震基準、完成が昭和56年以降か以前かによって大きく基準が変わると言われています。Tさんのお宅は築年数から考えると新耐震基準後の完成なので大丈夫……と思いがちですが、細かく見ていくと、現代では当たり前となった柱頭柱脚金物の設置が無い、また筋違いの固定方法にも問題



柱の引き抜き力に対して選定した金物を取り付ける。こちらも現在は義務だが2000年以前の家には無い。



筋違い金物の取り付け。現在では特別な金物では無いが、30年ほど前の建物を見るとほとんどの家が釘で固定されている。

が見られます。これは決して欠陥住宅という事ではなく、当時の大工さんの一般的な考えや基準の違いだと言えます。天井裏や床下を見る限り、劣化や腐食、シロアリ被害などはありませんでした。カビ臭もなくまだまだ健全な骨組みだったため、金物補強や耐震壁の補足をしながら現代の基準に合わせた耐震工事を行いました。

断熱性UP

天井裏や壁、床下の調査を行い、断熱性について確認したところ、現代とは考え方が大きく違い、50mm程度のグラスウールが壁と天井に入られ、床下には断熱材がありませんでした。グラスウールの固定も弱く、ずり落ちていたりずれていたり問題が見られました。断熱工事は耐震工事とセットで行える事です。壁や床の補強工事と合わせて、断熱材の追加や変更をする事で断熱性能がぐっとアップします。また、室内だけでなく壁内結露を防ぐ事もでき、建物を長持ちさせる事がで



屋根面に高性能の断熱材を垂木間に入れた。屋根面での断熱は効果も高く、施工精度も良い。



床下には、スタイロフォームを根太間に入れた。ずり落ちないように下地を入れるのがポイント。

きます。今回は空間を広く見せるため、元々あった平天井から勾配天井に変更し、屋根面に高性能な断熱材を入れて断熱性をアップしました。床下には根太間にスタイロフォームを入れ、落ちないように下地を入れて補強しました。また、窓の配置についても検討し、暖かな光の入る窓に加え、風の通り抜けるための窓を設置しました。押入れだった場所に元々あった通風ドアを移動し、南北に抜ける風の道をつくりました。暖かく風の通る部屋が出来、より快適な空間になったと思います。

提案

日中でも照明を付けていないと暗い部屋をなるべく自然光で明るくしたい、子供が大きくなってきたので、細かく仕切られた部屋をつなげて広く使いたい、というTさんの要望に対し、中廊下をやめて各部屋をつなげ、屋根裏を利用した開放的な空間とガラス瓦を使った天窓を提案し、一部の梁を上げてそのまま見せる計画としました。また、瓦屋根という事で通常のトップライトではなく、懐かしのガラス瓦を使用しました。防水紙を切り取ってアクリル板を敷き、その上にガラス瓦



勾配天井とする事で、屋根裏に隠れていた小屋梁の一部を現して使った。状態を見て塗装も考えていたが、削ったら綺麗に仕上がったのでそのままの状態とした。



瓦の一部をガラス瓦に変えて天窓にした。今はあまり使われ無いガラス瓦だが、雨漏りの心配も少なく簡単に施工できるのがポイント。

を載せる簡単な改修工事です。夏場の日射しを考え、天井面に格子を取り付け、光を和らげる提案をしました。その後で格子に障子を貼りました。床、天井にはコロラボ定番の杉板を使用し、元々壁紙やジュラク風の塗り壁だった壁に漆喰を塗り明るく優しい雰囲気の内内となりました。

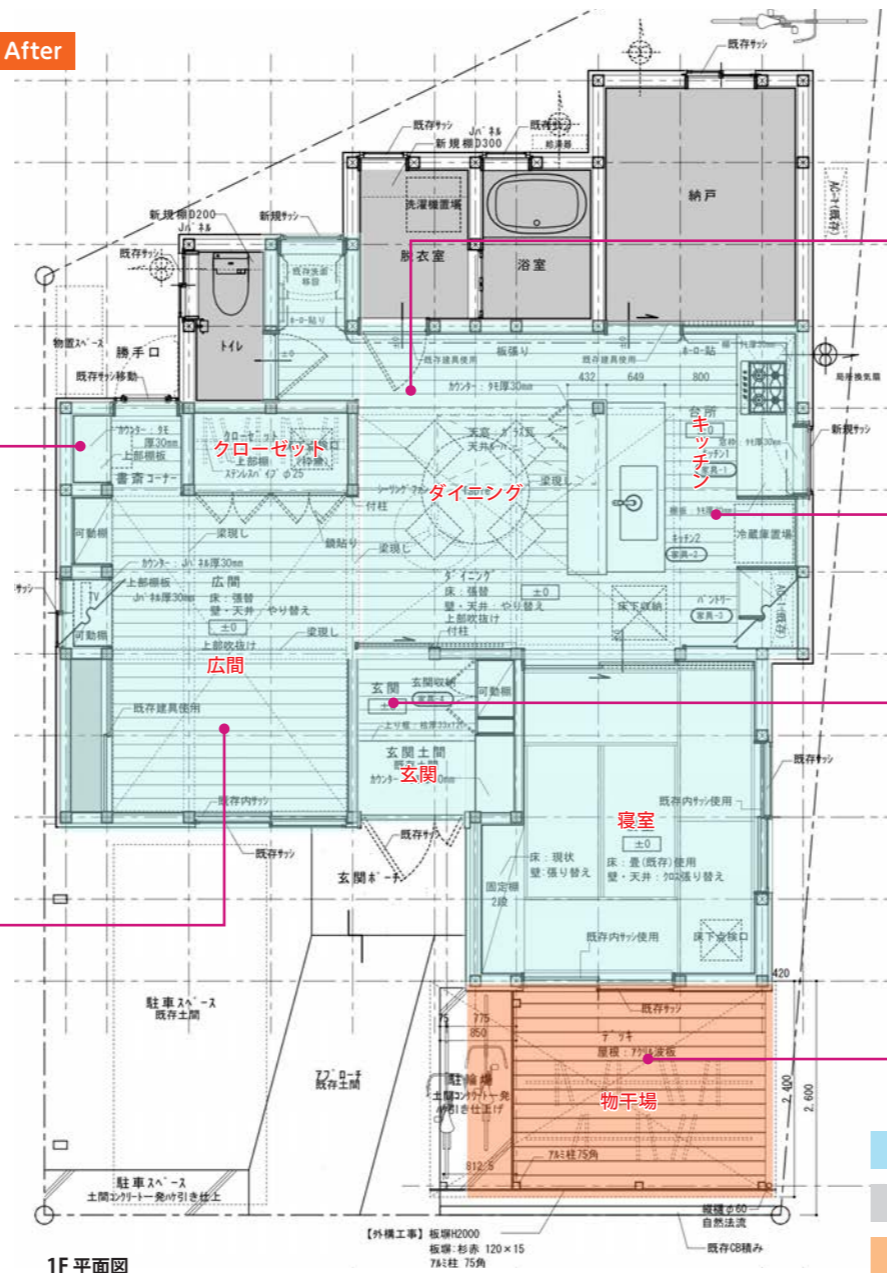
Before

改修前の家は畳の部屋が多く、どの部屋も6帖で小さく仕切られていた。また、廊下や居間は日中でも暗く、寝室には風の抜ける窓が無く、風通しも悪かった。改修工事では、家族の集うキッチンや広間を中心に、明るく広々とした空間と、木と漆喰を使った優しく暖かな雰囲気づくりを行った。



家族構成：夫婦＋息子
延床面積：62.27㎡(改修面積：49.26㎡)

After



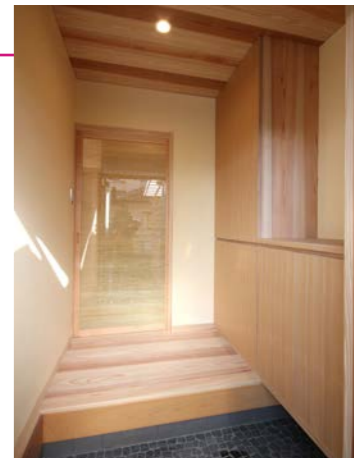
既存の間取りや構造材を生かしつつ、新しい木の空間をつくる。

改修工事の成功の鍵は綿密な調査と既存を生かした計画だと考えています。単に新しくするのは新築と変わらず、取り外しのコストも余分に掛かります。既存の家の声を聞き、今を生かしつつ新しい空間へ導くのが設計の醍醐味。木を生かしたコロボの改修事例をご紹介します。

新しく製作したキッチン。Tさんのアイデアで、コンロ下に底板をパンチングメタルにした風通りの良い引出しをつくった。



ダイニングから広間を見る。廊下で仕切られていた空間をつなげてワンルームとした。小屋裏に隠れていた梁も空間のポイントになっている。



生垣を撤去し、目隠し兼物干しデッキにした。デッキにはポリカーボネートで仕上げた屋根をつくり、明るさが室内に入り込む工夫をした。



床、壁、天井の仕上げを変え、玄関収納を新しく製作した。ガラスに挟み込んだ葛布はキハダで染められている。



押入れを一つ取り除いて書斎スペースをつくった。小さなスペースだが囲まれた感じが逆に心地よい。



広間からダイニングを見る。吹抜けで繋がった空間は開放感があり、面積以上の広さを感じられる。

- 改築したところ
- 改築しなかったところ
- 外構

1F平面図

**一般社団法人
住宅医協会**

上手な計画で賢いリフォーム

リフォーム工事での一番の要望は、浴室やキッチンなどの水廻りの改修、または「明るい部屋にしたい」「古くなった壁や床を変えたい」「狭い部屋を広くしたい」などの使い勝手や仕上げに関する事が多いと思います。新築であれば一定以上の構造や断熱などの基本性能がベースになりますが、改修工事の場合の多くはこの基本性能をアップさせていく事から始まります。要望だけを形にする事は出来ませんが、せっかく明るくキレイになった家でも、地震に怯え、また冬寒く、電気やガスの消費量が大きい家では、その価値は半減してしまいます。

仕上げを変える前に、耐震や断熱工事を。水廻りを変える前に、劣化や腐食した部分の取り替えをするなど、事前調査を基にした賢い改修計画が大切だと思います。

今回は耐久性と耐震性、断熱性のアップを加えたリフォーム工事でしたが、その他にもバリアフリー性、省エネルギー性、火災時の安全性も大切な性能です。それぞれの性能は単独な工事ではなく、お互い関係性のある改修工事となる事が多いため、さらに賢いリフォーム計画を考えていくと良いと思います。

今回の改修工事の際し、とても役に立ったのが住宅医での講習でした。調査方法や改修事例を学び、また、壊さなくても事前に予測する方法なども教えてもらいました。住宅医協会は、既存住宅の調査診断、改修、維持管理に関する技術開発と人材育成に関する活動を行い、住宅医の普及をもって持続可能な社会の構築に寄与すること」を目的に、住宅医の認定や育成、業務支援などを行っています。私も1年半程前に資格を取り、新築だけでなく、改修工事の設計や施工に取り組んでいます。住宅医の講習は多くのカリキュラムで構成され、仕事をしながら通うのはなかなか困難ではありますが、構造や設備、生物劣化(シロアリや腐朽など)などの専門的な講義が聞け、また、多くの事例を元に改修手法を教えてもらえます。改修工事は、「開けてみないとわからない」と思われていますが、たくさん蓄積から、ちょっとしたシミやヒビ割れで事前に予測し、その後の計画を立てることが出来ます。まさに住宅医の医者、町医者のような存在だと思います。住宅医講習会は毎年定期的に行われています。新築だけでなく、改修現場から先人の知恵を学び、また、先輩住宅医からたくさん情報を得ることが出来ます。是非多くの建築士に参加してもらいたいと思います。詳しくは住宅医ホームページをご覧ください。

◆ 一般社団法人 住宅医協会
<https://seiji.or.jp/>

工事着手から完成までの流れ(5~6ヶ月程度の期間をいただいています)

1. 地鎮祭・配置確認・基礎工事(地盤改良工事)(期間:1ヶ月程度)

工事着手として、地鎮祭と合わせて地縄確認(建物位置確認)、GL確認(建物基準高さ確認)を行います。その後、基礎工事のための掘り方、配筋工事、型枠工事、コンクリート打設工事を行います。



2. 墨付け、刻み工事・建て方(上棟式)(期間:1ヶ月半~2ヶ月程度)

基礎工事の時期に合わせて、工場で構造材の墨付け刻み工事を行います。構造図に沿って施工図、原寸図などを作成し、一本一本の木材を手加工で仕上げていきます。その後、現場で建て方を行い、刻まれた木材が1日~2日で組みあがっていきます。



3. 屋根工事・内部、外部木工時・設備工事(期間:1ヶ月半~2ヶ月程度)

建て方の後、一番に取り掛かるのは屋根工事です。大工が屋根下地をつくり、板金屋さんもしくは瓦屋さんが屋根材を葺きあげていきます。その後、大工は外壁工事や外部の造作工事(窓枠や庇など)を行い、内部の床や壁工事へと移ります。大工事に合わせて、電気と給排水設備の工事が行われます。各職人同士のコミュニケーションが大切で、タイミングに合わせて施工していきます。

4. 左官工事・建具工事・家具工事・タイル工事(期間:1ヶ月~1ヶ月半程度)

大工工事の完了後、左官工事を行います。漆喰などの左官工事は天候や湿度などに影響されやすく、特に外部の左官工事は天候に左右されるため、工程が組みにくく余裕をいただくこともあります。建具、家具工事は同時に行い、大工事に合わせて事前に取り付けて行く事もあります。

5. 設備器具取付け・美装工事・試運転(期間:半月程度)

内部壁や家具工事が終了した後、照明器具やガス器具、薪ストーブなどの取付けを行います。室内に灯りがつき、私たちもほっとする瞬間です。全ての器具が取り付いた後、スタッフ皆で美装工事(お掃除)を行い、傷や不具合などのチェックを行い手直しなどを行います。

6. 完了検査・お引渡し・住まいの1年点検

全ての工事が終了した後、検査機関による完了検査を行い、自社での最終検査を行います。建具の開閉や床鳴り、設備器具の最終検査を行い、お施主さんの確認後お引渡しを行います。お引渡し後、1年後に家の点検にお伺いいたします。1年を経過して設備や仕上げに変化が無いか確認し、特に建具の開閉については注意深く行います。その後も定期的にご訪問させていただき、長いお付き合いをさせていただきたいと思っております。

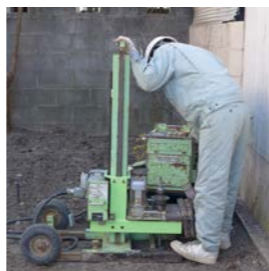
木の家づくりの予算について

木の家づくりのための総予算

はじめにお断りしておかなくてはいけないことがあります。それは、家づくりには様々な要因があり、建築本体費用や設計費用だけでなく、敷地や地盤条件、周辺環境や行政などの指導や規制により必要な建築費用があり、個々のケースで違った予算となる事があります。そのため、当事務所では、家づくりの予算を全体で考えることをお勧めし、各工事費用に加えて、電化製品や家具の購入費用、また、お引越しや仮住まい、地鎮祭や建前などの諸経費についても全体予算として検討していただくことが望ましいと考えています。以下、検討したい内容についてご紹介します。

□家づくりの総予算

- ① 建築本体工事費…木の家本体にかかる各工事費用の合計。
屋外給排水工事、浄化槽工事、照明器具費用なども含まれる。
- ② 設計費用…基本設計、実施設計、工事監理、確認申請などの費用。
- ③ 外構植栽費用…駐車場工事、アプローチ工事、お庭づくり費用など。
- ④ カーテン、ブラインド等の費用…障子や木製ブラインドについては、本体工事に含まれる事もあり。
- ⑤ エアコン、薪ストーブなどの付帯費用…エアコンはお客さんに本体を購入していただき、取り付けを当方で行う。薪ストーブの煙突工事、本体取付工事など。
- ⑥ 地盤改良費用(軟弱地盤の場合)…設計時に地盤調査を行い、データにより判断する。
改良方法にも数種類あり、地盤の強度に合わせて選定する。
- ⑦ 水道本管引込費用…宅地に水道が引込まれていない場合にかかる費用。前面道路より引込む。
- ⑧ 登記費用など…分筆、農地転用、建物表示登記、保存登記、抵当権設定登記、所有権移転登記など、
敷地や持分の状況などにより異なる。
- ⑨ 諸経費…契約印紙代、融資手数料、地鎮祭費用、建前費用、引越し費用、
仮住まい費用、電化製品、家具購入費用など、細かな費用も計上しておくことが大切。



項目	単価	数量	金額
建築本体工事費	1000000	1	1000000
設計費用	50000	1	50000
外構植栽費用	20000	1	20000
カーテン、ブラインド等の費用	10000	1	10000
エアコン、薪ストーブなどの付帯費用	150000	1	150000
地盤改良費用(軟弱地盤の場合)	300000	1	300000
水道本管引込費用	100000	1	100000
登記費用など	10000	1	10000
諸経費	50000	1	50000
合計			2000000



木の家づくりをお考えの方へ (後編・工事の流れ)

前編に続き、今回は着工から完成までの工事の流れと家づくりの総予算についてご説明します。近年の住宅は様々な構法があり、構法により工期が大きく変わります。主な部分を工場生産し、ユニット化された部材を現場で組み立てるプレハブ構法、コロポの取り組んでいる大工の手仕事でつくる板倉構法や在来構法など、様々な構法があり、着手から完成までの手順が違います。各構法にメリット・デメリットがあり、工期の他に材料管理や品質、コストなどがあります。特にコストは工期と関係し、早く出来れば仮設費用や諸経費などが下がり、つくり手だけでなく、住まい手の仮住まいの費用にも影響します。なるべくコストを抑えていくためには、1日でも早く完成する事が良いとは思いますが、コロポの家づくりは大工の手仕事、特に墨付けや刻みといった工程を大切にしている事、職人同士のコミュニケーション、適切な工程を大切にしている事をご理解いただき、約半年程の工期をいただいています。家一軒つくるには、たくさんの方の職人や業者が家づくりに携わります。基礎屋から始まり、

大工、板金、設備屋等、それぞれの仕事は重なり合いながら進んでいく事がほとんどです。次の職人へのバトンタッチする際、良い仕事をするには丁寧な仕事と合わせて、心のこもった引き継ぎが大切だと思います。工期以外にも、家づくりの費用について関心の大きいと思いますが、建物の費用ばかりに目が行き、意外と諸経費や付帯工事と呼ばれる、設備や地盤改良工事、税金や保険などの費用が抜け落ちてしまう事もあります。これらはすべての方に掛かるものではなく、敷地条件や要望に大きく関係します。また、住宅会社によって本体に含まれていたり、別途費用が掛かるものが多い、工事の最後に気づく事もあります。特に、建物外の費用については注意が必要で、給排水配管や、ガス配管費用などは別途工事となる事が多いようです。また、照明器具やカーテンなども別途工事となる事が多く、標準工事費だけでなく、見積もりに何が含まれているのか、注意深く見る事が大切です。今回は、様々なケースに合わせて、自分たちの家づくりには何が必要か。また、見落としはないか? などのチェック項目として参考にしてください。(文・山崎健治)

元気一杯！ 笑顔になる野菜

～心も体も元気になって、笑顔になる野菜～

Lalala PLaNET plus (ラララ・プラネット・プラス)

蓮華寺池公園近くにある無農薬野菜の八百屋です。地元の新しくておいしい野菜、有機野菜や自然農法の野菜を取り扱い、お野菜を中心とした心と体がほっこりするランチも大好評。元気で笑顔になるお野菜を食べに買いに来てください。
[住所] 藤枝市若王子1-2-34 [Facebook] LalalaPLaNETplus
[TEL] 090-1985-6285 [Instagram] lalala_plus.kumi

夏の野菜

立夏が過ぎ、本格的な夏がやって来ますね。夏野菜には、水分やカリウムを豊富に含んでいるものが多く、身体にこもった熱を身体の中からクールダウンしてくれます。

バターナッツかぼちゃ



かぼちゃとエリンギのバター醤油炒め

- 1) かぼちゃは皮付きのまま拍子切り。エリンギも切る。
- 2) かぼちゃとエリンギを炒め、バターと醤油で味付けをする。

バターナッツかぼちゃは欧米では最もポピュラーなかぼちゃの一つです。ひょうたんのような形をしており、下の膨らんだ部分に種があります。肉質部分はナッツのような風味で、ねっとりした食感。通常のカボチャに比べて糖度も高く風味

も豊かで繊維質が少ないです。果皮は肌色～黄褐色で、熟していくとオレンジ色になっていきます。皮も調理方法によっては食べられます。和食より洋食に向いているカボチャです。風通しの良い場所で2～3か月の保存が可能です。



バターナッツかぼちゃのスープ

- 1) バターナッツかぼちゃは半分切って、綿と種、皮を取り薄切に。玉ねぎも薄切に。
- 2) 鍋に油とバターを入れ、玉ねぎを炒め、しんなりしてきたら、かぼちゃを入れて炒める。油が回ったらヒタヒタのお水と洋風だしを入れる。
- 3) かぼちゃと玉ねぎが柔らかく煮えたら、細かく潰す。
- 4) 豆乳(牛乳)を加え、塩で味を整え出来上がり。冷やすと冷製スープになります。

茄子



茄子の南蛮

- 1) 乱切りして小麦粉をまぶし、少し多めの油で揚げ焼きに。
- 2) 砂糖、醤油、酢(1:1:1)を入れ、弱火にし、タレにとろみが付くまで煮絡める。

大体6～9月が旬の夏野菜。様々な調理方法と相性が良く、特に油との相性が良いので、炒め物や揚げ物がオススメ。漬物、煮物など、和洋中間わず美味しく食べられるのも特徴です。カリウムが豊富に含まれているので、デトックス効果

もあります。

【美味しいナスの選びの基本！】

- ・へたの切り口にみずみずしさが残っており、棘が立っている
- ・皮にハリとツヤがある
- ・表面に傷がないか



茄子のケチャップ炒め

- 1) 茄子を適当な大きさに切る。フライパンに多めの油を引き、蓋をして蒸し焼きにして茄子に火を通す。
- 2) 火が通ったらウィンナーやベーコン、玉ねぎ、エリンギなど他の野菜も炒める。
- 3) ケチャップを入れ(隠し味で少しめんとゆ入れると美味しい)、塩コショウで味を整える。
- 4) フライパンのまま、とろけるチーズを入れ、溶かしてもOK! お弁当のおかずにも!

「コロポ設置店」より...

こだわりのお店紹介

nimes ニーム



菊川駅から徒歩5分、菊川市役所近くにあるnimes ニーム。日々の暮らしが楽しく、心地よくなるような雑貨が並びます。ハンドメイドのアクセサリー、ピアスやブローチ…。焼き菓子はスコーンやクッキー…東京から届きます。贈り物を探しに、ちょっとしたアクセサリーを探しに、焼き菓子のお土産に…♪ご来店お待ちしております。

nimes ニーム

菊川市堀之内1653
[TEL] 0537-35-2642
[OPEN] 10:00～18:00
[定休日] 水曜・日曜
[URL] <https://nimes1997.com/>

nimesさんからお知らせ

サンキャッチャーや、イヤリング・ピアス作り…ワークショップも。

nimesでは店内でのワークショップのほか、出張レッスンも承ります。ピアスやイヤリング、サンキャッチャー…。お気に入りの1つを作って楽しみませんか。日時は応相談♪ほかにも、どんなワークショップが楽しいかな♪いつも考えていたり…。夏休みに、いろんなイベントに。お問い合わせくださいませ。



Atelier Petit*Calin (アトリエ プティカラン)



静岡の郊外にて週末だけオープンするお菓子屋です。材料にこだわり、見て可愛い食べて美味しいをモットーに大人も子供も笑顔になる、ケーキや焼き菓子を作っています。テイクアウトはもちろん、併設されているカフェでお茶も出来ます。1週間頑張ったご褒美に、新しい1週間への活力に。とっておきの週末を過ごしにいらして下さい!

Atelier Petit*Calin (アトリエ プティカラン)

静岡市葵区大岩4-29-29
[TEL] 054-209-2050
[OPEN] 11:00～17:00
[定休日] 月曜～金曜
[URL] [http://petit-calin.jugem.jp/\(ブログ\)](http://petit-calin.jugem.jp/(ブログ))
[SNS] [instagram @atelierpetitcalin](https://www.instagram.com/atelierpetitcalin)

プティカランさんからお知らせ

オーダーケーキご予約承ります

お誕生日や記念日など、オンラインのケーキをお作りします! 当店ではホールケーキは完全予約制のオーダーメイド。お客様のご要望をお伺いしてプランを練りひとつずつ手作り、同じデコレーションはありません。ご予約についてはブログにて詳細をご案内しておりますのでご希望の方はご拝読下さい!



KoKolab.

隔月刊 ココロボ通信 No.79
2019年6月10日発行

発行人 有限会社ころ木造建築研究所
代表 山崎健治

〒427-0011 静岡県島田市東町1047-2
TEL: 0547-54-4556
FAX: 0547-54-4557
http://www.kokolab.jp
E-mail: office@kokolab.jp

担当
山崎良江(「ココロボ通信設置店より…」担当)

編集… Branch 村上幸枝
印刷所… 松本印刷株式会社

※本誌記事の無断転用や
コピーを禁じます。



[購読を希望されます方へ]

当社ホームページのお問合せフォーム又はTEL、FAX、E-mailのいずれかでお申込み下さい。
年間購読料…1,200円 / 一冊定価…200円
(上記料金は発送費として頂いております。)
※当社、もしくは通信設置店では、無料配布しています。

会社概要

当社は、地域木材と職人の伝統技術を用いて木の家造りを行っている設計事務所です。隔月発行の『ココロボ通信』、また『こころぼスクール』やイベントなどを通し、住宅や暮らしを取り巻く様々な情報を発信しております。

編集後記

いよいよ梅雨入りしました。この時期は現場の工程が難しく、特に建前の段取りには頭を悩めます。木は少し濡れたくらいですぐに傷むわけではありませんが、構造材がそのまま見える真壁の家では、柱や梁の染みやアクが出るので、避けたいものです。暮らしの中でも憂鬱なもの。ジメジメしてカビも気になりますが、木の家に住んでいるとそれが少ない事に驚きます。木の壁や床はサラっとし、とても快適です。我が家では、梅雨から夏にかけて「窓を開けない暮らし」をしています。天気の良い日は全開にして換気しますが、雨や湿度の高い日は外の湿気が入ってしまいます。窓を開けないほうが快適って何だか変な感じですが、それだけ木の家は人に優しい機能が詰まっているのだと思います。(山崎健治)



Information

🏠 島田市『Marchの家』完成見学会を行います。

ご両親の家と同じ敷地に建つHさんのお宅、2軒の家を1軒として暮らしていましたが、お子さんの成長や家族の変化もあり、今回独立した形で1軒の家を新築しました。3間×5間の限られたスペースの中、家族4人の暮らす住まいを計画し、コンパクトながらも所々にゆとりの感じられるお宅になりました。6月に入り現場では最終段階に入りました。梅雨明けの完成を目指して仕上げていきたいと思っています。

- ◆ 日時：2019年7月下旬(日) 10:00~17:00(予約制)
- ◆ 場所：島田市

※見学会の詳細情報はココロボホームページ [http://www.kokolab.jp]でお知らせします。
※予約制となっておりますので、当社までご連絡下さい。(ご予約後、案内図を送らせていただきます)

🏠 こころぼスクール

『住宅医に訊く、長く暮らすための木の家リフォーム勉強会』

- ◆ 日時：2019年9月8日(日)
13:00~16:00(予約制)
- ◆ 場所：『こころぼの家』

※詳しくはホームページをご覧ください。

🏠 木の家相談会

木の家の仕組み、予算など、何でもご相談ください。

- ◆ 日時：7月6・7日(土・日)
8月3・4日(土・日)
10:00~17:00(予約制)
- ◆ 場所：『こころぼの家』

『こころぼの家』information

『こころぼの家』では毎月テーマを決め、ココロボ通信設置店さんなどに協力をいただきながら暮らしにまつわる展示やイベントを行っています。また四季の暮らし方に合わせた木の家暮らしを体験できるみんなの木の家として、様々な企画をしています。

7月

月見豆さん主催 『夕ごはんの一品★WS』

第一回 文月 夏の夜のひとしな

7月22日(月) 13:30~

★かんたん返し醤油 からの一品

一本あれば本当に便利！夏は何かと便利なのがめんつゆ。揚げ野菜と麺・飛龍頭など、出汁の効いたおつゆでおいしくいただけます。[参加費]4,500円



8月

さじかげんさんの

夏休み子どもジャム教室

8月2日(金) 10:30~12:30

ブルーベリーでジャム作り。デモンストレーション形式でジャムの作り方などジャムについてのお勉強をしましょう！
[参加費]3,000円(おみやげつき)
[申込]sajikagen@hotmail.com



BREAD Lab conocaさんの

夏休み『親子パン教室』~動物パンを作ろう~

8月20日(火)10:00~13:30

親子で一緒に楽しく動物パンを作りましょう。焼きたてのパンをみんなで試食します。[参加費]2,500円
[申込]takazou1916@gmail.com (小俣)



BREAD Lab conocaさんの

パン教室&パンの販売

★天然酵母で作るパン教室を開催します。

7/16(火)ブルーベリーチーズパン

[申込] takazou1916@gmail.com

ご希望の開催日5日前までに、お申し込みください。

★月に一度のパンの販売日 11:00~ 7/12(金)、8月休み



- ◆ 場所：『こころぼの家』 島田市東町1370-4

イベントの詳細や今後の展示・イベントなどは、当社Facebook「KoKolab.」、instagram「kokolabnoie」でお知らせしていきます。また、見学や体験などについては随時予約を受け付けていきますので、電話やメール、お問合せフォームなどお気軽にご連絡ください。